

令和7年度 第1回富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会
議 事 録

〔日時〕 令和7年9月1日（月）

14:30～15:30

〔場所〕 富里市役所分庁舎2階大会議室

○出席者（順不同）

- （座長） 寒郡 茂樹委員【富里市商工会】
（職務代理者） 根本 実 委員【富里市農業協同組合】
瀬良 光弘委員【富里市区長会】
浅貝 昇司委員【まちづくりコーディネーター】
坂本 裕子委員【富里高等学校】
橋野 隆信委員【千葉銀行富里支店】
田中 由美委員【成田公共職業安定所】
渡邊 薫 委員【富里市学校専門指導員】
渡邊さとみ委員【株式会社広域高速ネット二九六】
高梨 弘子委員【成田国際空港株式会社】
（事務局） 竹本企画財政部長、山崎経営戦略課長、須永課長補佐
山川主査、小澤主査
（傍聴者） なし

○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 座長選出
- 6 議題
(1) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和6年度実績の効果検証について【資料1-1、1-2】
- 7 その他
- 8 閉会

会議録

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
五十嵐市長から委員へ委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 座長選出

互選により座長は寒郡茂樹委員に決定
座長が職務代理者として根本実委員を指名

6 議題

- (1) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和6年度実績の効果検証について

【座長】

- ・事務局から説明を求める。

(資料を基に事務局より説明)

【座長】

- ・委員の皆様からご意見等を伺いたい。

【委員】

- ・日吉台には日本語学校があるので外国人が多い。アパートや一戸建てに複数の外国人が一緒に住んでいるケースもあり、ゴミ出しが身近な問題としてある。

【事務局】

- ・本市は県内で外国人割合が上位である。中でもスリランカ人の割合が多いと認識している。市としても、秩序ある共生を目指して取組を強化しているところである。

【委員】

- ・移住定住に関する施策が思っていたより少ないと感じる。

【事務局】

- ・本市の人口は横ばいで推移している。今住んでいる方に定住していただきたいという観点から、令和7年度からは結婚から子育てまでの重点プロジェクト等を進めているところである。

【委員】

- ・農業分野については数値的には良い結果ではあるが、目標値として正しいのかは少し疑問がある。
- ・全国と比較すると、農業分野に関する市の支援等については充実していると感じている。
- ・外国人が増えてきている実感はあるが、農業分野においても外国人がいないと成り立たない状況である。

【委員】

- ・連携事業については、富里高校として市のイベント等に今後も意欲的に参加させていただきたい。
- ・図書館との連携では、美術作品を飾っていただき、生徒の励みにもなっている。
- ・令和7年度からコミュニティスクールとなり、開かれた学校づくりの委員に市内各中学校の先生方に入っているが、令和8年度は企業やメディアの方にも入っていただき、生徒がこの街で生きていくつながりを作り、学びが得られたらいいと考えている。
- ・富里高校の外国人選抜の枠は3名だが、去年は7人の応募があり、日本語が全く話せない生徒もいた。その子達をどうしていくか、そのまま卒業させたとしても、その後どうしていくかを考えると課題があるので、教育現場でも何とかしたいと考えている。
- ・虐待や心に問題を抱えているなどの相談が増えている。中学校との連携を図りながら、自分らしく生きていける、社会とつなげるような学びを提供できるよう活動していきたい。

【事務局】

- ・小中学校においても外国人児童・生徒が多数いるが、日本語指導の先生が不足している。現在は、地域のボランティアに協力をいただきながらフォローしている状況である。

【委員】

- ・企業誘致、セミナー、奨励金等の案内を金融機関からも行い、行政と連携を図りながら今後も商工業の発展に協力していきたい。
- ・成田空港関連のプロジェクトチームがあり、近隣の自治体と情報交換をしている。そのチームとも連携を図りながら、富里市の発展に資するよう協力したい。

【委員】

- ・ハローワークでは、外国人の就労に向け、日本語学校等に対して、働く上での注意ポイントなどのセミナーの場を設けていきたい。
- ・外国人就労については制約があるため、雇い主にも一定のルールや届出等が必要であることを周知していきたい。
- ・スリランカの方が多い傾向と伺ったが、ヤード（車置き場）の関係が多いという印象がある。
- ・日本語がわからない外国人の方からアルバイトの相談が多い。仕事の指示だけでなく、安全面からも日本語の理解は必要であることから、企業には日本語教育のサポートをお願いしている。
- ・富里市内に工業団地が2つ、約2,000名の就労があると把握しているが、工場関係の求人は少なくなっている。
- ・65歳以上の方も多くなっており、就労支援に力を入れている。
- ・ハローワーク成田は、令和7年度から人手不足分野（建設、医療、介護、保育等）への取組を強化している。

【委員】

- ・外国人の子への支援については、各学校に全く日本語を話せない子がいる。昨年度から教育委員会で日本語指導の方を配置しており、リタイアした先生方や「みんなの日本語」というボランティアさんが、学校と連携してやってくださっている。また、学校としては、ALTやJTEを活用している。
- ・不登校が大きな課題である。以前は不登校率を下げるのが目標であったが、数値を下げるよりも、不登校の子どもたちの居場所づくりや相談する場所を周知していくことにシフトしていかないと、不登校率は下がっていかないのではないかと考えている。家庭訪問だけでなく、具体的に戦略を描いていかないといけないと思う。
- ・ICT教育の推進で、1人1台タブレットを配布し効果があがっている。授業での活用はもちろん、先生方の業務効率化も図られている。また、ICTの支援員さんが各学校をまわり、子どもたちだけでなく、情報環境の整備ということで協力をしていただいている。
- ・令和8年度までは、現在の指標で進めていくが、令和9年度に向けて見直しが必要だと思う。

【事務局】

- ・外国人については、引き続き要望をしていきたい。
- ・指標の見直しについては令和9年度からの計画に反映していきたい。

【委員】

- ・基本目標1こころの健康づくりについては、自治体の支援がしにくい分野だと思うが、自治体として公式ホームページ以外に取り組んでいること、課題などがあれば教えていただきたい。
- ・基本目標2デマンド交通利用者人数が増えた要因を教えていただきたい。
- ・基本目標4新たな社会に対応する情報基盤の整備(デジタル関係)について、未実施が多い。課題があれば教えていただきたい。

【事務局】

- ・県の電話相談窓口などの案内をしている程度である。
- ・DXの推進については、昨年度改訂をしていることから、実施期間が短いことも理由の一つとしてある。
- ・デマンド利用者が増えた要因としては、個別の説明会も実施し、周知を図っている。また、既存の利用者からの紹介を通じ利用登録者数も増えている。

【委員】

- ・成田空港の発着回数増に伴い、就労人口をどう確保していくか切実な状況にある。就労人口を確保していくためには、企業と協力していくことが重要だと考えている。同時に、空港で働くためには、空港の近くに居住地を設ける、どこに住むかを考える時に役立てていただけるよう、情報発信のため共通ホームページを設け、富里市にも協力をいただいている。

- ・インバウンドが伸びている状況である。末廣農場、旧岩崎家末廣別邸などの観光資源と何か協力できることがあればいいと思っている。
- ・外国人の児童生徒の問題は、空港関係の会議でも課題提起をいただいている。空港としても、外国の方の雇用も増えている実態があるので、働きやすい職場づくりという点では、空港会社、関係企業とも真剣に取り組んでいきたいと考えている。

【事務局】

- ・就労人口の確保については、成田空港の機能強化という機会を逃さないように取り組んでいく。

【座長】

- ・外国人について、教育、農業、商工業、自治会など様々な面で影響が出てきている。県や国にお願いするという話を聞くが、そろそろ自分達でやるしかないのではないか。担当課、担当部署を設けて取り組んでいった方がいいのではないか。

7 その他

特になし

8 閉会